

ユレッジ - 日本の「揺れやすさ」と地震防災を考えるサイト

---

---

ユレッジは、日本の「揺れやすさ」と地震防災を考えるサイトです。

ユレッジは：

揺れの「ナレッジ」（知）が集まるメディアであり、  
揺れについて学ぶ「カレッジ」（学び）であり、  
揺れと日々の暮らしの関わりを考える「ピレッジ」（対話）です。

2011年3月11日の東日本大震災で受けた教訓は、  
日本人にとって大いに価値のあるものです。

言うまでもなく、たくさんの悲しい出来事や負の遺産が生まれ、  
一方で、歳月の経過と共に記憶は薄らぎ始めています。

嘆くだけでなく、省みるだけでなく、批判するだけでなく、  
「これからどうしていけばよいのか」ということを、  
きちんと考えていくためのプロジェクトが、ユレッジです。

人は知を蓄え、学び、そして、それを材料に考え話し深めることが  
できます。

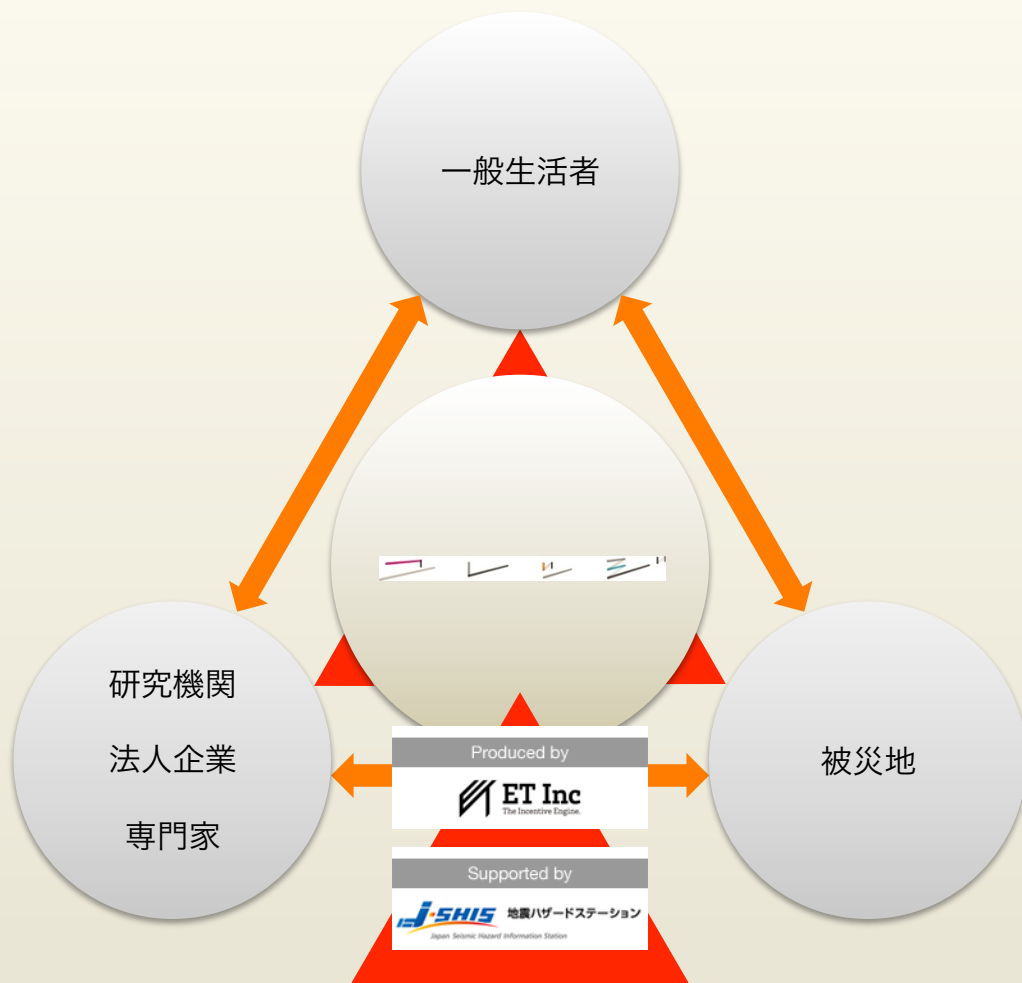
瓦礫が撤去され、更地になっても、  
そこに新たな文化を積み上げなくては、より良い未来はない、  
それは被災地だけでなく、日本どこでも同じです。

今はなき司馬遼太郎さんの著書に『この国のかたち』  
というシリーズがあります。

日本人は一人一人がもう一度瑣末な問題指摘に縛られず、  
「この国のかたち」を考えないといけないように思います。

ユレッジのスタートです。





WEBサイトを通じた情報発信、企画展開、コミュニケーションによって、防災へのアテンションを喚起し、知識を流通させ、関心を持続させる。

ユレッジがプレゼンスを確保できれば、これまで防災に必ずしも関わりのないとされてきた分野での企業連携、ユーザ参加、イベント企画なども展開可能。

東日本大震災の経験を、次世代のための「社会イノベーション」に繋ぎ込む。

そのための糸口となるのが「防災」。

様々な分野の専門家が、防災を語る

## Think Like A Bird

### プロフェッショナルと描く防災の鳥瞰図

防災の専門家に限ることなく、デザイナー、ジャーナリスト、エンジニア、都市計画プランナーなど、幅広い分野のプロフェッショナルから、防災に関する知見を収集し、寄稿いただきます。他の専門分野と防災の関係性を紐解くことで、我が国の防災に関する議論の裾野と視野をより広げることを目的とします。

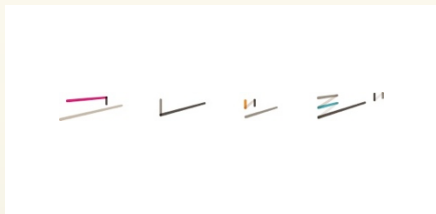
ユレッジがお届けする、防災コラム

## ～地震ハザード読みこなし隊が行く！～

### わたしらしい防災知識セミナー

J-SHIS 地震ハザードステーションをアドバイザーに、地震ハザードの読み取り方、活用方法などを、女性視点の対話形式で紹介します。サイエンス・アウトリーチの観点から、専門性の高い知識を噛み砕いて、一般の方々がより理解しやすい内容としています。

ロゴ



キャッチコピー

日本の「揺れやすさ」と地震防災を考えるサイト

公開日

2013年4月9日

表記

日本語：ユレッジ

英語：yullege

WEBサイト

<http://www.yullege.jp>



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/yullege>





運営：株式会社イーティー

<http://www.ex-tra.jp/>

2012年11月1日設立。法人・個人を問わず、Webサイトやソーシャル・メディア活用の企画・制作、またそれに付随する業務を手がけています。フリーランスのチームでプロジェクトを運営することを得意とし、様々な領域のパートナーと連携しています。また代表、加藤 康祐は「アプリそうけん (<http://appsouken.com/>) 」にて記事を執筆する他、人がメディアになる時代のインタビュー・サイト「ET Luv.Lab. (<http://lulvlab.ex-tra.jp/>) 」を運営しています。



協力：J-SHIS 地震ハザードステーション

<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>

J-SHIS は、独立行政法人防災科学技術研究所によって運営される、地震防災に資することを目的に、日本全国の「地震ハザードの共通情報基盤」として活用されることを目指して作られたサービスです。「全国地震動予測地図 (J-SHIS Map) 」を始めとし、スマートフォン・アプリなど、様々なツールが提供されています。

**小野 梨奈 【企画、サイエンス・アウトリーチ コンテンツ編集・執筆】**

1977年、北海道函館市生まれ。働く女性のためのWebメディア「cafeglobe.com」を経て、2006年に独立。Webプロモーションまでを含めたWebサイト・Webコンテンツの企画・制作を中心に行っている。最も関心のある活動テーマは、一人一人が望む多様な働き方、生き方を平等に選び、実現できる世の中にするために必要なことは何かを考え、行動していくこと。その活動のひとつとして、2009年に「Rhythmooon」を立ち上げ、フリーランスという働き方に関する情報を女性目線で発信している。プライベートでは、夫、子2人の4人家族。現在、国内外に限らず、どこにいても仕事ができるワークスタイルを目指して自らも模索中。

**迫田 大地 【企画、ネーミング、ロゴ・デザイン】**

1980年生まれ、横浜市出身。東京造形大学視覚伝達デザイン科卒業。在学時よりウェブサイト制作、運営。その後、小さなソフトウェアハウスを経てヤフー株式会社へ入社。PC用のウェブサービスおよび特集ウェブサイト、スマートフォン用のウェブサービスおよびアプリケーションのビジュアルデザイン、インタラクティブデザインを担当。2012年2月よりフリーランスとして活動を開始。また、Podcastパーソナリティ、クラブDJとしても活動中。

**越水 大輔 【コーディング】**

1981年生まれ、川崎市出身。大学卒業後、国内最大手の証券会社に勤務し営業を担当。その後商社、不動産で営業の経験を重ねるが、趣味のサイト制作が高じてWEBデザイナーに転身。多数クライアントのWEBサイト・アプリのUIデザイン、サービス開発に携わり、ディレクションもこなすようになる。WordPress利用のサイト制作とインタラクティブデザインが得意分野。現在は福岡に拠点を移し、首都圏クライアントともリモートで案件を進め、「仕事に場所を縛られない」ライフスタイルを実験中。

**加藤 康祐 【企画・サイト編集、寄稿 コンテンツ編集、WEBサイト デザイン及びシステム・カスタマイズ、広報】**

1980年生まれ。株式会社イーティー 代表取締役社長。大学在学中の1998年よりデザイン会社にてWEBプランニングやWEBデザインを経験。2005年6月より個人事業、Experience Transportersをスタート。2012年11月、ET Incを設立。クライアントとパートナーとETが「やりたいことを、やりたいように、やり続ける」ための仕組みづくりに取り組む。